

月	単元・学習内容	評価規準（到達目標）	観点別評価			評価方法
4	年 度 始 休 業		ア	イ	ウ	
	3 体育理論 ◆運動・スポーツの文化的特徴	現代社会におけるスポーツの意義や必要性、歴史を理解する。	○		○	教科書に記載されていることの理解力を問う
	7 体づくり運動 ①体ほぐし運動 ②体力を高める運動	①体ほぐし運動の目的を理解し、積極的に実践する。②体力を高める運動の目的を理解し、他と協力しながら積極的に取り組む。	○	○	○	◆毎時間の授業で評価
5	6 陸上競技 ①短距離走(50m走) ②長距離走(1500m走) ③ハンドボール投げ	●種目の正しい測定方法での実践を行うことができ、自己の体力・運動能力を最大限に発揮し、記録向上や競い合うことの楽しさを体験すること。	○	○	○	◆毎時間の授業で評価 ◆スキルテストの実施
	前 期 中 間 考 査					
6	8 柔道(1) ◆礼法、受け身、さばきと崩し、寝技（袈裟固め、横四方固め、上四方固めなど）	●礼儀作法や正しい服装・基本動作を身につけ、受け身、寝技、体さばきなどの技能を身につける。 ●安全に留意して、互いに協力して積極的に活動する。	○	○	○	◆毎時間の授業で評価 ◆スキルテストの実施
	10 ソフトテニス ◆フォア・バックのストローク、サーブ、ラリー、ゲーム、審判法	●サーブからラリーに展開できるよう、ラケットの持ち方とボールコントロールが適切にできるような技術を身につける。 ●自他共に安全性を確保・協力し合い、合理的な練習方法で上達するような協力体制のもと授業を展開する。	○	○	○	◆毎時間の授業で評価 ◆スキルテストの実施
8	10 バドミントン ◆各種ストロークの習得 ◆各ストロークを駆使した簡易ゲームの実践と運営	●サーブから各種ストロークを駆使したラリーに展開できるよう、ラケットの持ち方とシャトルのコントロールが適切にできるような技術を身につける。 ●自他共に安全性を確保・協力し合い、合理的な練習方法で上達するような協力体制のもと授業を展開する。	○	○	○	◆毎時間の授業で評価 ◆スキルテストの実施
	15 バレーボール ◆各種パス、スパイク、ブロック、サーブの基本◆ゲームの運営と審判法	●チームプレイが可能となるまでの個人技能が身につける。 ●ルールを理解した上でのゲームの運営ができ、その行動めの安全かつ合理的な練習ができる。	○	○	○	◆毎時間の授業で評価 ◆スキルテストの実施
9						

前 期 期 末 考 査				
10	6 器械運動 ◆前転、後転、開脚前転、開脚後転伸膝後転、倒立前転、後転倒立、側転、ハンドスプリングなど	●授業を行う前の用具の準備と運動を行うための体の準備を適切に行う。 ●技を正確に行うための課題を見つけ、解決に必要な練習計画を立てて実践する。 ●補助の仕方を覚え、安全に留意して、協力して取り組む。	○ ○ ○	◆毎時間の授業で評価 ◆スキルテストの実施
	7 柔道(2) ◆投げ技（足技、腰技、手技）・乱取り	●体さばきを身につけ、技を正確にかけることができる。 ●投げ技に応じて、安全に受け身を取ることができる。	○ ○ ○	◆毎時間の授業で評価 ◆スキルテストの実施
	8 卓球 ◆サーブ、フォア、バック、スマッシュ、ラリー、ゲーム	●基本的な打法を身につけ、他と協力してゲームを運営する。	○ ○ ○	◆毎時間の授業で評価
後 期 中 間 考 査				
12	3 バスケットボール ◆ハンドリング、ドリブル、パス、シュートの基本	●ボールをコントロールできるように基本技術を身につける。 ●シュート・パス・ドリブルの選択を身につける。	○ ○ ○	◆毎時間の授業で評価 ◆スキルテストの実施
冬 季 休 業				
1 2	12 バスケットボール ◆1 on 1、2 on 2、ゲームの実践と審判法 ◆5 対 5 の攻防	●ルールを理解し、他と協力して、ゲームを運営する。 ●バスケットボールの技能の向上とともに走る・跳ぶの基礎的な体力向上を図る。		
後 期 期 末 考 査				
3	7 球技 ◆バレー、バスケ、卓球	●球技大会に向けた取り組みができる。 ●他と協力してゲームを運営する。	○ ○ ○	◆毎時間の授業で評価
	3 体育理論	●オリンピックと国際理解、ドーピングについて学習する。	○ ○	教科書に記載されていることの理解力を問う
	105			